

琉球人遺骨返還 奈良で団体発足

新基地建設の報告も

奈良県人権センターで21日、「辺野古新基地建設を阻止し、琉球人返還を求める10・21奈良県集会」（主催・奈良―沖縄連帯委員会など）が開かれた。

琉球処分や人類館事件など沖縄の歴史を振り返る基調講演のほか、辺野古新基地建設の現状報告などがあつた。

また、戦前に旧京都帝国大学の人類学者が県内から琉球人の遺骨を持ち去り、京都大に収蔵されたままになっている問題で、沖縄に遺骨の返還を求める「奈良県会議」も結成した。

結成宣言では「植民地主義を問い、その呪縛からの解放を求める」と訴え、遺骨返還を求める訴訟の動きに連帯するとした。